

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸盲	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で 記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	やってみよう ローマ字の学習		
	単元(題材)の目標	ローマ字表を確認しながら、正しくローマ字入力ができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	3 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 ・50音のローマ字の読み書きがほぼできる。大文字、拗音、促音は不確実。 ・ローマ字とパソコン等のローマ字入力の違いについては知っているが、ローマ字が確実でないため、ローマ字表を見て確認しながら読み書きしている。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 パソコン、タブレット		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Microsoft Word		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で 記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	・将来にむけて、ICT機器の操作やローマ字入力に慣れる ・書く時間、消す、書き直すなどの時間の短縮ができる。 ・入力したものが正しいかどうかすぐに分かるため、振り返りがしやすい		
活用の状況と支援	※ICT活用場面と行った支援について記入する。 ・ローマ字表にラミネートをかけて、いつでも使用できるようにしている。ローマ字入力をするとき、分からない文字があると自分でローマ字表を確認しながら正しく入力することができるようになってきた。 ・入力したローマ字が間違えていると、正しくひらがなに変換しないため、すぐ自分で気付いて削除したり、正しい文字を入力したりすることができるので、援助依頼があるまで見守っている。			